

平成28年度【後期】就労支援員養成研修

企業へのアプローチ

演習⑦ 就労体験の活用

豊中市 市民協働部 くらし支援課
くらし再建パーソナルサポートセンター
無料職業紹介所・豊中 企業支援チーム
常松 順子

◆企業アプローチにおける私たちのミッションは何？

色々な内容

色々な環境

さまざまな能力、価値観、職業観を持ち、
市内全域に居住する求職者に、
仕事を通じて社会の中での出番を見つけ出すこと

幅広い地域



◆そのためには

日頃の訪問により
企業との関係性づくりとアセスメントを進め、
多種多様な受け皿づくりが重要



分かってはいたけど...

◆私の大きな勘違い

求職者Aさんにピッタリの市場求人を見つけ、
早速、企業にアポイントメント「いい人がいます」

訪問時「こんな経験でこんな強みの人です」

採用担当者

「応募者が他にもいるので、その中の一人として検討しても良い」

結果

「他に良い人材がいたので、今回は...」



◆無料職業紹介所・豊中の課題（2015年度当初）

「求人ありませんか」

「この人を雇ってもらえませんか」の結果が...

登録事業所数約 900社（2006年～）



関係性がほとんど継続していない

理由

- ・支援員及び企業担当者の交替
- ・求人に対応できず訪問しにくい
- ・求人に対応してもらえなかったと訪問拒否
- ・企業理解ができていないためアプローチのきっかけがつかめない
- ・情報が蓄積されていない



◆見えたこと

企業アプローチ ≠ 求人開拓

- 求人が出されている場合には、即戦力を求められる
さまざまな困難を抱えている求職者を受け入れてもらうための調整が難しい
- 訪問時の面談が求職者の売り込みになりがち
企業にとってのメリットが人材紹介に限定される
- マッチングできなかった場合に関係性が続かない
また次回と言われても...期待されても困る...

◆ 始めたこと

企業アプローチ＝関係性づくりから



- まずは存在を知ってもらう。企業に対し何ができるかを明確に伝える
企業はやはりシビア。メリットがないと乗ってこない
- 求人の有無よりも企業の困りごとを聞きながら企業を理解する
企業支援の視点で接点の可能性を探る
- 今後おつきあいができるか否かを見極める
訪問する全ての企業と関係性をつくる必要はない

◆そして、見えてきたこと

企業アプローチは件数より回数

- ・企業との関係性づくりは1回の訪問では難しい

十分に説明をしても初回は警戒される。企業側に浸透する時間やタイミングも必要

- ・企業の困りごとに対し、具体的な人物像で提案すると、現場の担当者に会えることが多い

業務の詳細だけでなく、職場の状況や従業員の意識がつかめ、企業理解が深まる

- ・何回目かの訪問で「そう言えば…」と困りごと相談が出てくることも

企業との関係性ができるとお互いに相談がしやすくなる

◆気づいたこと、感じていること

課題は「企業メリット」をどうつくりだすか



- ・企業は、助成金や雇用率だけでは動きにくい
- ・企業は、従業員への影響を重視する
- ・企業内実習(就労体験)は、企業にメリットを実感してもらうチャンス
- ・人材の変化や成長を一緒に喜ぶ感覚も鍵になる
- ・企業を理解し、企業を支援することが、受け皿づくりにつながる

無料職業紹介所・豊中 2015年度の実績

- 訪問企業数 のべ299社
- 新規求人件数 462件
- 紹介人数 109件（面接会を除く）
- 就職者数 53人（面接会を含む就職者数70人）
- 事業所内実習参加数 のべ27人 うちその企業への就職15人
- 面接会
 「障害者のしごと合同面接会」「若者のしごと合同面接会」
 「シニア向け合同就職面接会」
- 見学会
 「ものづくりのしごと見学会」「介護のしごと見学会」
- 面接対策講座
- 豊中版ジョブライフサポーター養成講座、障害者雇用企業の見学会

演習⑦ 就労体験の活用

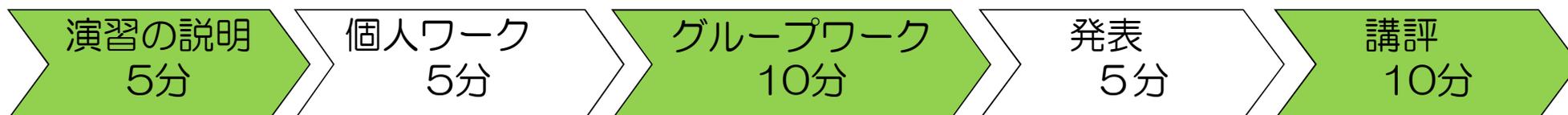
<演習のねらい>

この演習では、事業所内の業務全体の中から就労体験に適した仕事を見出して、就労体験ジョブとして企画し、企業に提案する方法を演習してみます。

<ポイント>

- 企業の立場に立って、困りごとに対応し、かつ切り出し可能な仕事を考える。
- 就労体験希望者の出来ること得意なことを仕事につなげる視点を持つ。
- 仕事の内容・量・安定性について検討し、1日の時間軸の中で組み立てる。

演習の流れ



演習の設定

就労支援員のあなたは、以前にアプローチしたA社から、就労体験の受け入れを前向きに検討しても良いとの連絡を受け、再訪問して事業所全体の業務の様子を見学しました。

1週間後に同社に対して就労体験の企画案をプレゼンテーションすることになっています。

【設定情報】

- <1> A社の概要
- <2> 事業所の業務内容・仕事に関する情報
- <3> 就労体験希望者(3つのタイプ)の情報

個人ワーク

- 設定情報を読み、就労体験希望者を選び、就労体験を企画します。
- 具体的な就労体験ジョブのまとめりとして、企画案をまとめましょう。
- A社に対して、特にアピールしたいことを考えてください。

グループワーク

- 各自の企画案を発表し、意見交換しながらブラッシュアップしてください。
- グループで、一押し企画案を選びましょう。
- A社にアピールするポイントは何ですか。

発表

- 2～3のグループに、一押し企画案を発表していただきます。

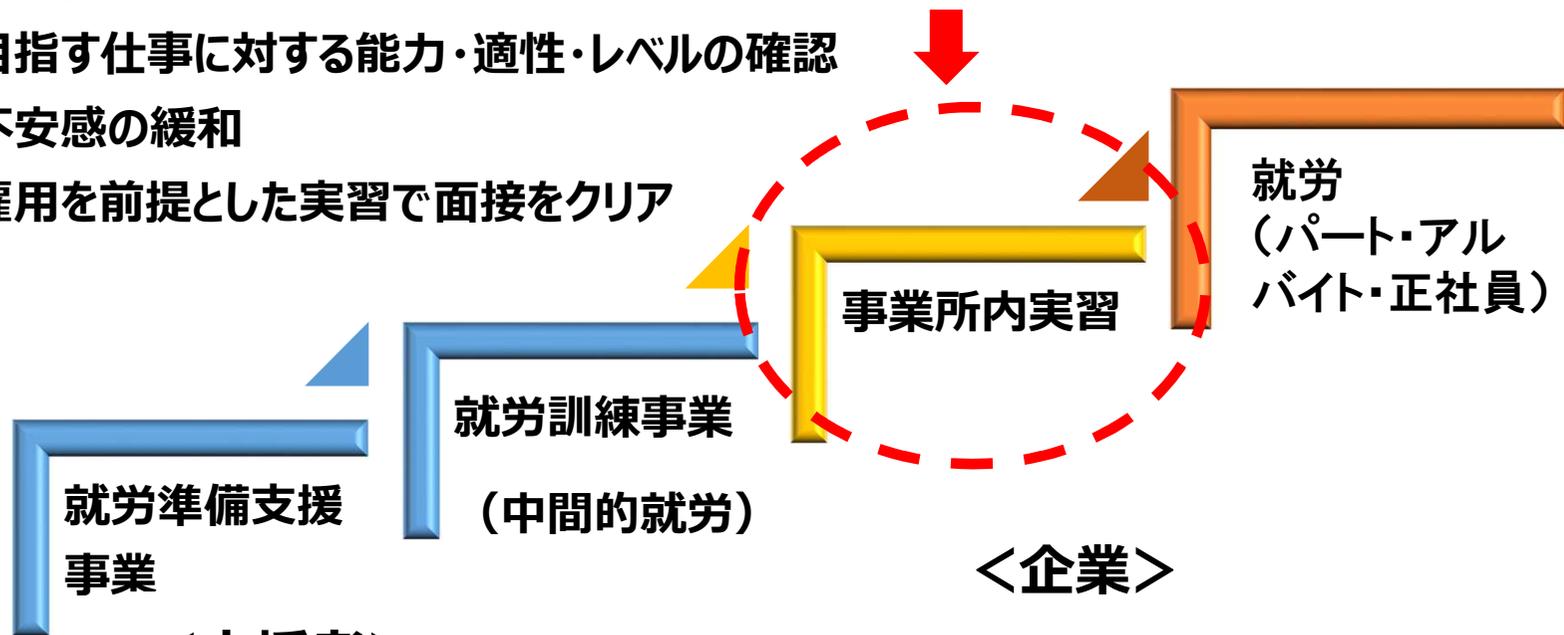
就労体験の活用① 豊中市の事業所内実習制度

- 「雇用を前提とした実習」と「訓練としての実習」の2とおり
- 期間は概ね2週間
- 相談者の状況に合わせた時間や曜日で設定
- 企業に市から謝礼金
- 本人に企業からインセンティブ（依頼）
- 期間中の保険は市で加入
- 開始前、目標の共有と終了後、企業担当者を含む三者で振り返りを実施

就労体験の活用② 求職者と企業、支援者のメリット

<求職者>

- ・目指す仕事に対する能力・適性・レベルの確認
- ・不安感の緩和
- ・雇用を前提とした実習で面接をクリア



<支援者>

- ・求職者の就労レベルのアセスメント
- ・企業の業務内容、風土の理解

<企業>

- ・能力・適性を見極めて採用できる
- ・定着に関する不安感の緩和
- ・実習受け入れのために業務の見直し促進

平成28年度【後期】就労支援員養成研修

【演習⑦】 演習の概要

豊中市 市民協働部 くらし支援課
くらし再建パーソナルサポートセンター
無料職業紹介所・豊中 企業支援チーム
常松 順子

<1>A社の概要

事業所名	社会福祉法人 豊愛会 サンサンテラス豊中	業種	高齢者介護施設の運営
住所	豊中市北桜塚〇-〇-〇	電話番号	06-6858-6862
最寄り駅	阪急宝塚線 豊中駅 徒歩15分	人事担当者	施設長 大山 様
従業員数	正社員 35名 パート 15名	職種別人数	事務 4名 調理 3名 ドライバー 3名 介護39名 看護 1名
事業所の業務内容	①地域密着型介護老人施設（特別養護老人ホーム）29床 ②短期入所生活介護（ショートステイ） 11床 ③小規模多機能型居宅介護（デイサービス）登録29人	従業員の待遇等	・法人賃金体系による ・社会保険完備 ・交通費実費支給 ・食事補助あり ・自転車・バイク通勤可 ・制服貸与 ・社員登用制度あり ・資格取得助成制度あり
施設の特徴	<p>・地域密着型の施設として共有スペースを開放。住民参加のイベントや作品展などを実施。入居者も近隣の人が多く、家族の面会が頻繁にある</p> <p>・特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスはユニット制で、家庭的な雰囲気過ごせるよう、食事、入浴、洗濯、掃除など全て顔なじみの介護スタッフが行っている</p>	求人状況	・介護スタッフ 正社員・パート ・ドライバー兼営繕 パート
		採用に関わる条件等	・勤務時間、曜日、日数は相談可 ・未経験者も積極的に採用 ・定年65歳 再雇用あり シニア層の応募も歓迎
備考	<p>・介護スタッフは現在も不足していて、事務スタッフが周辺業務を兼務して補っている</p> <p>・利用者の余暇活動を増やしたい。ギターや生け花などの特技を活かして欲しい</p> <p>・4階テラスを畑にする構想がある。また施設周辺にも花を植えて楽しめるようにしたい</p>		

<2> 事業所の業務内容・仕事に関する情報①



外観(裏側)



清掃用具置き場



階段室



エレベーターホール

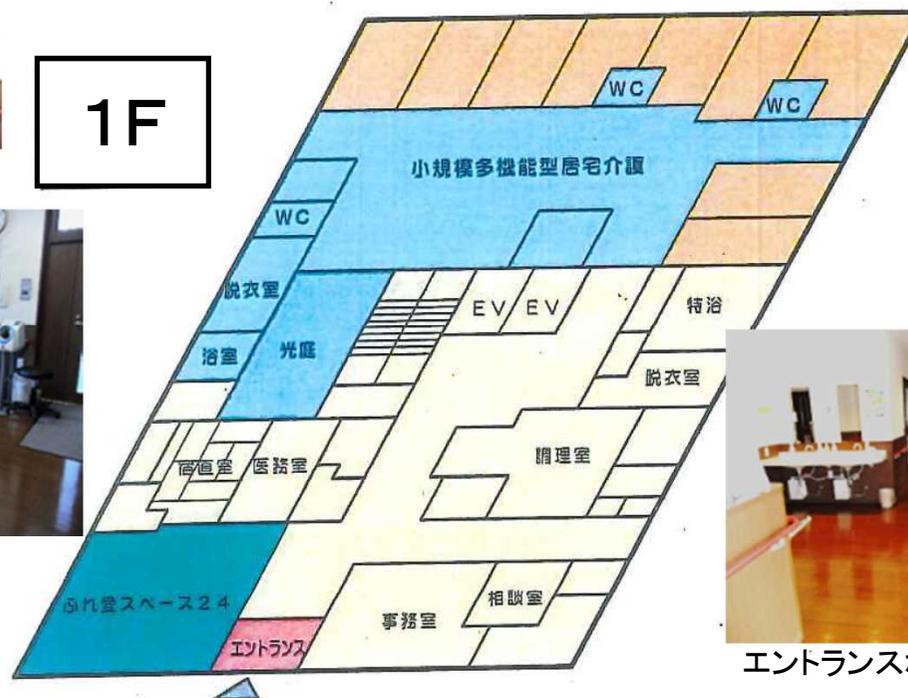


小規模多機能型居宅介護



汚物処理室

1F



調理室



外観(正面)



多目的スペース



エントランスホール



浴室



玄関

<2> 事業所の業務内容・仕事に関する情報②



ユニット通路



居室

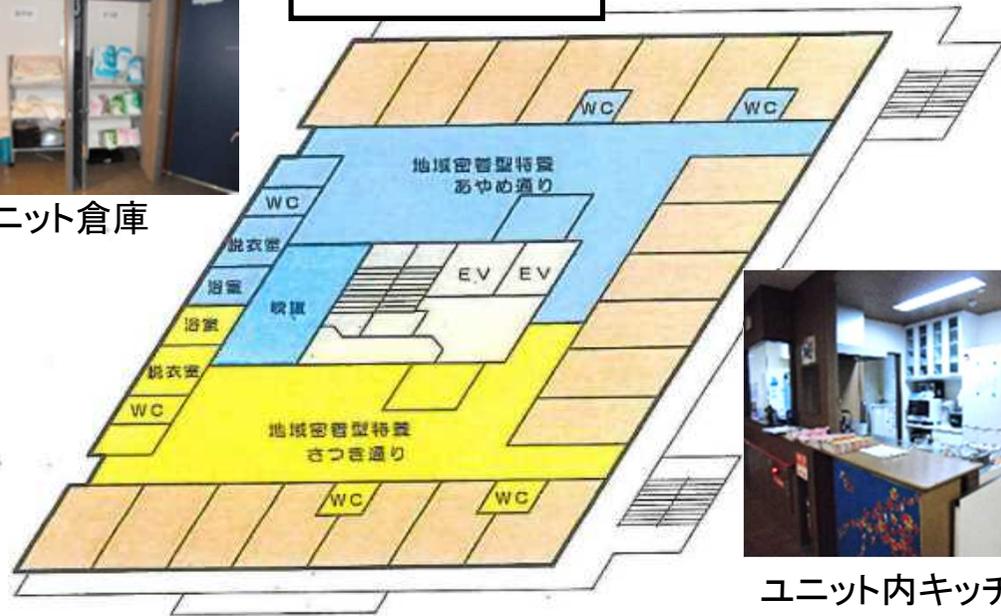


ユニット内リビング

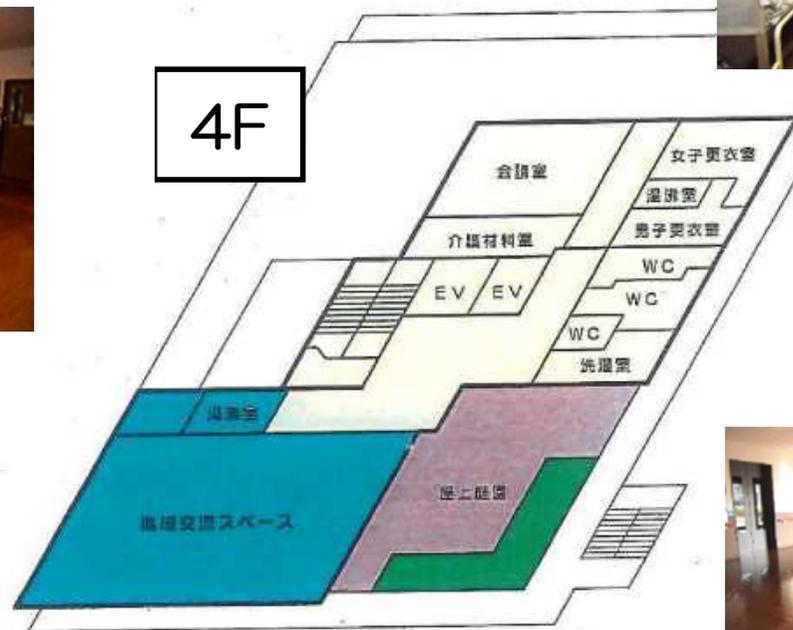
2F・3F



ユニット倉庫



ユニット内キッチン



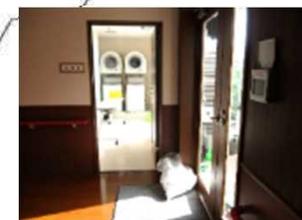
地域交流スペース



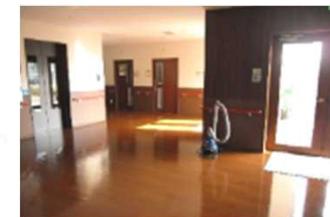
屋上テラス



介護材料室



洗濯室



エレベーターホール

<2> 事業所の業務内容・仕事に関する情報③ 対人介護業務以外

区分	業務詳細	フロア	担当	備考
調理	<ul style="list-style-type: none"> ・おかずの2次加工、盛付 ・ユニットへの運搬 ・食器の殺菌、乾燥 	1F調理室	調理員	<ul style="list-style-type: none"> ・1次加工は外注 平均50食 ・盛付は管理栄養士、事務スタッフが補助
	<ul style="list-style-type: none"> ・ごはん・味噌汁の調理、盛付 ・食器洗浄、調理室への運搬 	1～3F各ユニット内キッチン	介護スタッフ	・デイサービス、ショートステイ、特別養護老人ホームの4ユニット
洗濯・リネン	<ul style="list-style-type: none"> ・共通タオル類の洗濯、乾燥、倉庫補充 ・居住者の衣類の洗濯、乾燥 ・洗濯物のたたみ、運搬、配布 	4F洗濯室 4Fテラス 4F介護材料室	介護スタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・各ユニット内の洗濯機、浴室乾燥も併用 ・雨天以外は乾燥後、テラスで干す
	<ul style="list-style-type: none"> ・居室シーツ交換(週1回) 	1～3F各ユニット	介護スタッフ	・シーツ類の洗濯は外注
	<ul style="list-style-type: none"> ・汚物処理 ・シーツ類仕分け 	1F汚物処理室	介護スタッフ	・事務スタッフが補助
清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・共有スペースの清掃 ・地域交流スペース、多目的スペースの清掃、椅子等の移動、設置 ・屋外の清掃、植栽管理 	1～4F共有スペース	事務スタッフ、ドライバー	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランス、エレベーターホール、1F浴室、1F・4Fトイレ、調理室、事務室、階段(中階段、外階段) ・手空きの人が行うことになっている
	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット内の清掃、石けん等の補充 	1～3F 各ユニット	介護スタッフ	・フロア、キッチン、浴室、洗面台、トイレ、居室、通路

<3> 就労体験希望者の情報

① Tさん 63歳 男性 独り暮らし

- ・中途障害により難聴。手話ができず、筆談も苦手で周囲との意思疎通に課題有り
- ・工場内作業20年、建設作業15年の就労経験。体力、気力に自信を持ち、就労意欲は高い
- ・几帳面な性格で、家の中はとても清潔に保つ。決められた時間や届出、書類提出などは厳密に守る

② Kさん 50歳 女性 夫、子供2人との4人暮らし

- ・家計や家族関係のストレスからくる気分障害で通院中。新しい環境や人間関係に不安が強い
- ・縫製の仕事を6年経験。結婚後、軽作業などのパートに就くが仕事が覚えられず退職。就労ブランク5年
- ・就労準備として作業系実習に参加。安定して通い続け、ルールに則って繰り返す作業の能力や集中力には就労のレベルがあることが確認できた

③ Yさん 31歳 男性 両親と同居

- ・友人との関係がうまくいかず、大学途中から行けなくなって10年間引きこもり
- ・単身で海外旅行をしたり、介護初任者研修資格を取得したりする力はあるが、就労経験はなし
- ・就労準備として公園内での園芸作業実習に参加。目を合わせて話すこともできなかった状態から徐々に集団に慣れ、積極的に人と関わろうとする姿が見られるようになった

<就労体験希望者① Tさん>

○就労体験に選択した業務

○提案の理由

○A社に対してアピールすること

<就労体験希望者② Kさん>

○就労体験に選択した業務

○提案の理由

○A社に対してアピールすること

<就労体験希望者③ Yさん>

○就労体験に選択した業務

○提案の理由

○A社に対してアピールすること

市の政策動向を踏まえた 生活困窮者自立支援制度の活用と運用



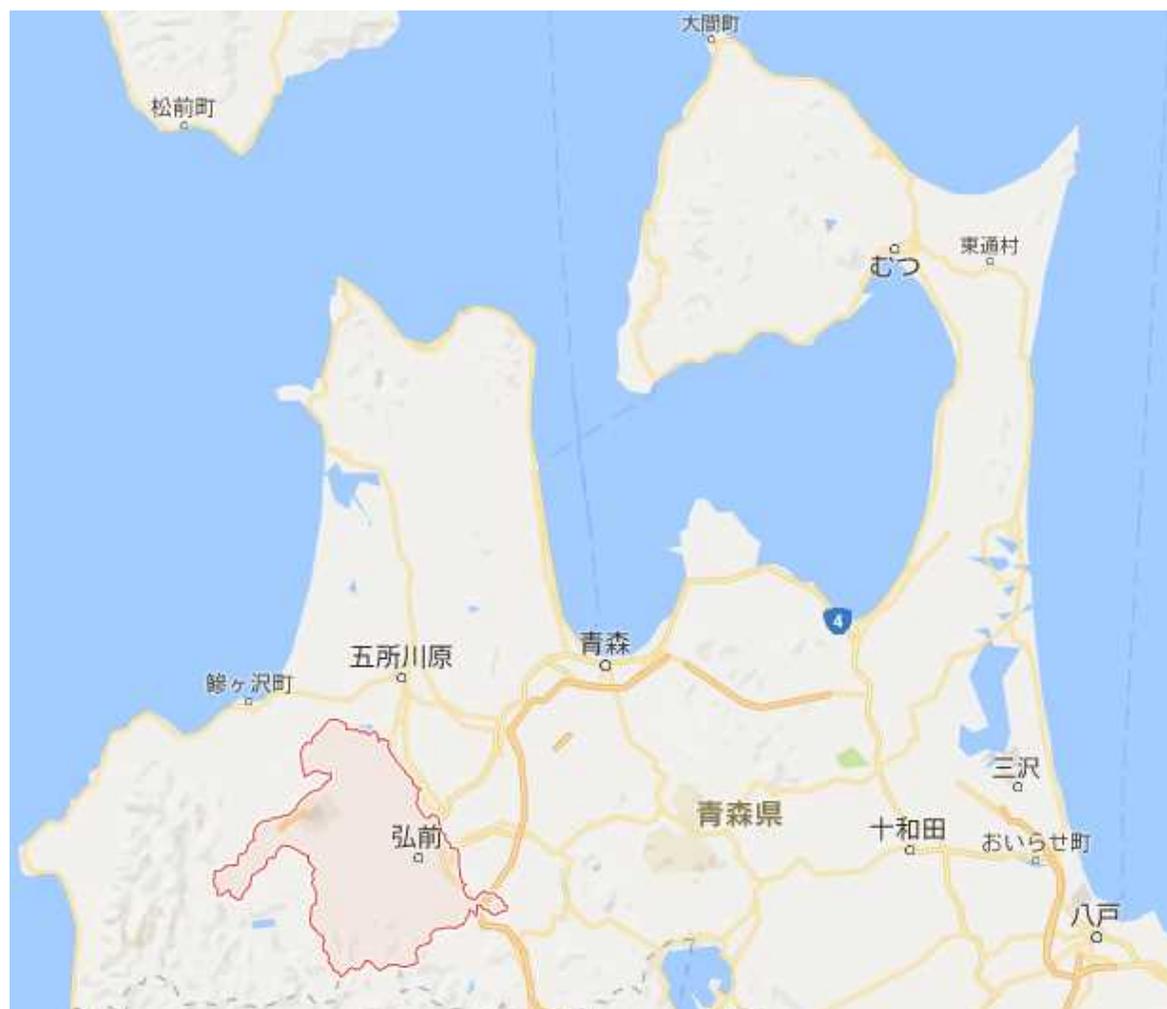
弘前市健康福祉部就労自立支援室



～ 目 次 ～

- 1. 弘前市の概要**
- 2. 人口減少に起因する地域課題**
- 3. 地方創生による自治体間連携の取り組み**
- 4. 生活困窮者自立支援制度の活用と運用**
- 5. 今後の展開**

1. 弘前市の概要



弘前市の概要

弘前藩の城下町として発展してきた弘前市は、史跡弘前城跡をはじめ、寺院街や武家住宅、明治、大正期のハイカラな洋風建築物など、数多くの文化財を有し、春の「さくらまつり」、夏の「ねぷたまつり」など、四季折々のまつりが国内外から多くの観光客を迎えます。





四季折々のまつり





日本一のりんごの産地





りんごの生産量

出典:農林水産省ホームページ

順位	都道府県	生産量 (t)
	全国	811,500
1位	青森県	470,000
2位	長野県	157,200
3位	山形県	50,600
4位	岩手県	48,600
5位	福島県	26,300
6位	秋田県	22,900
7位	群馬県	9,280
8位	北海道	7,660
9位	宮城県	3,740
10位	岐阜	1,990
11位	富山	1,510
12位	広島	1,420
13位	山梨	913
14位	石川	754

弘前市の生産量は約18万トン、青森県全体の約4割、全国の約2割を占める。

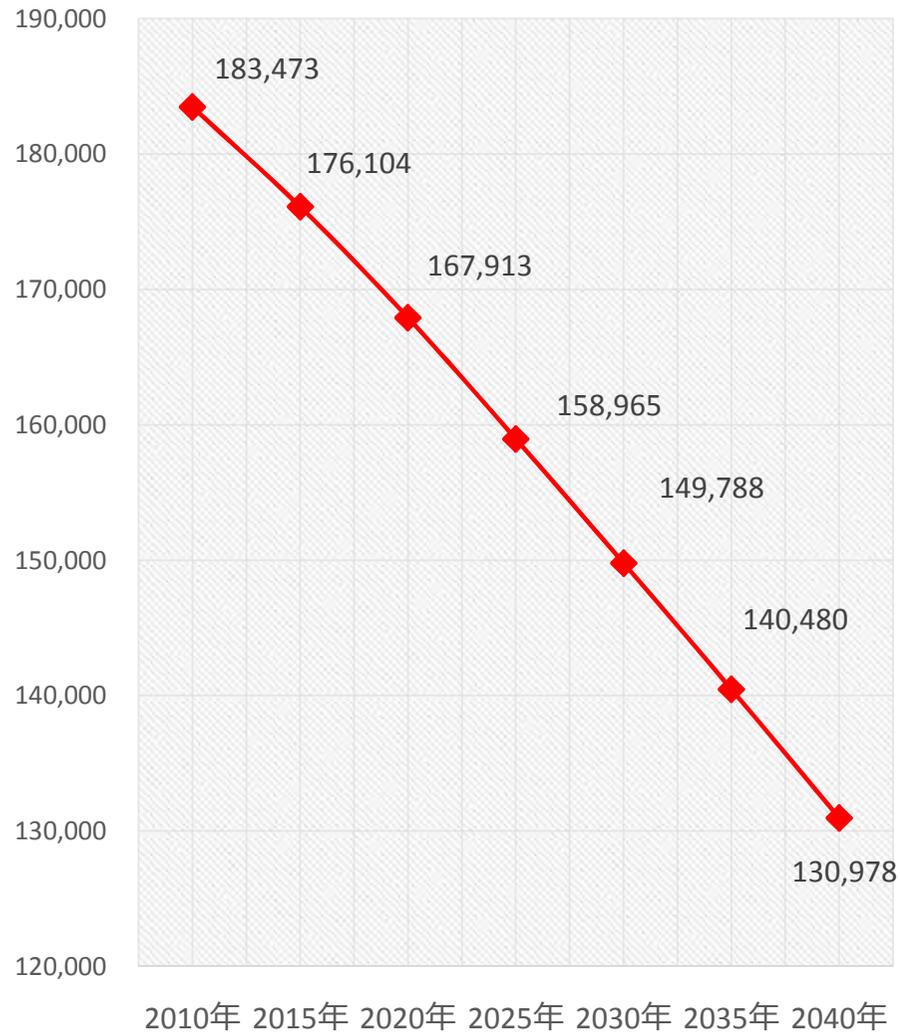




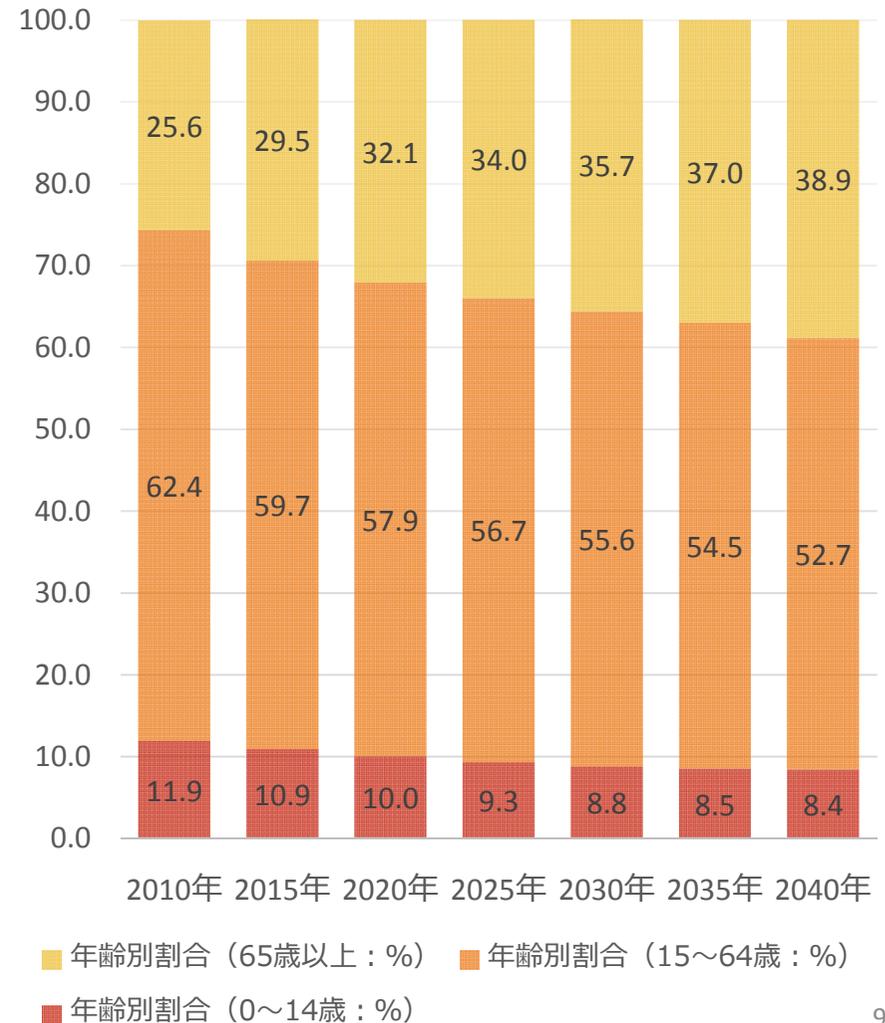
2. 人口減少に起因する地域課題

弘前市の人口推移

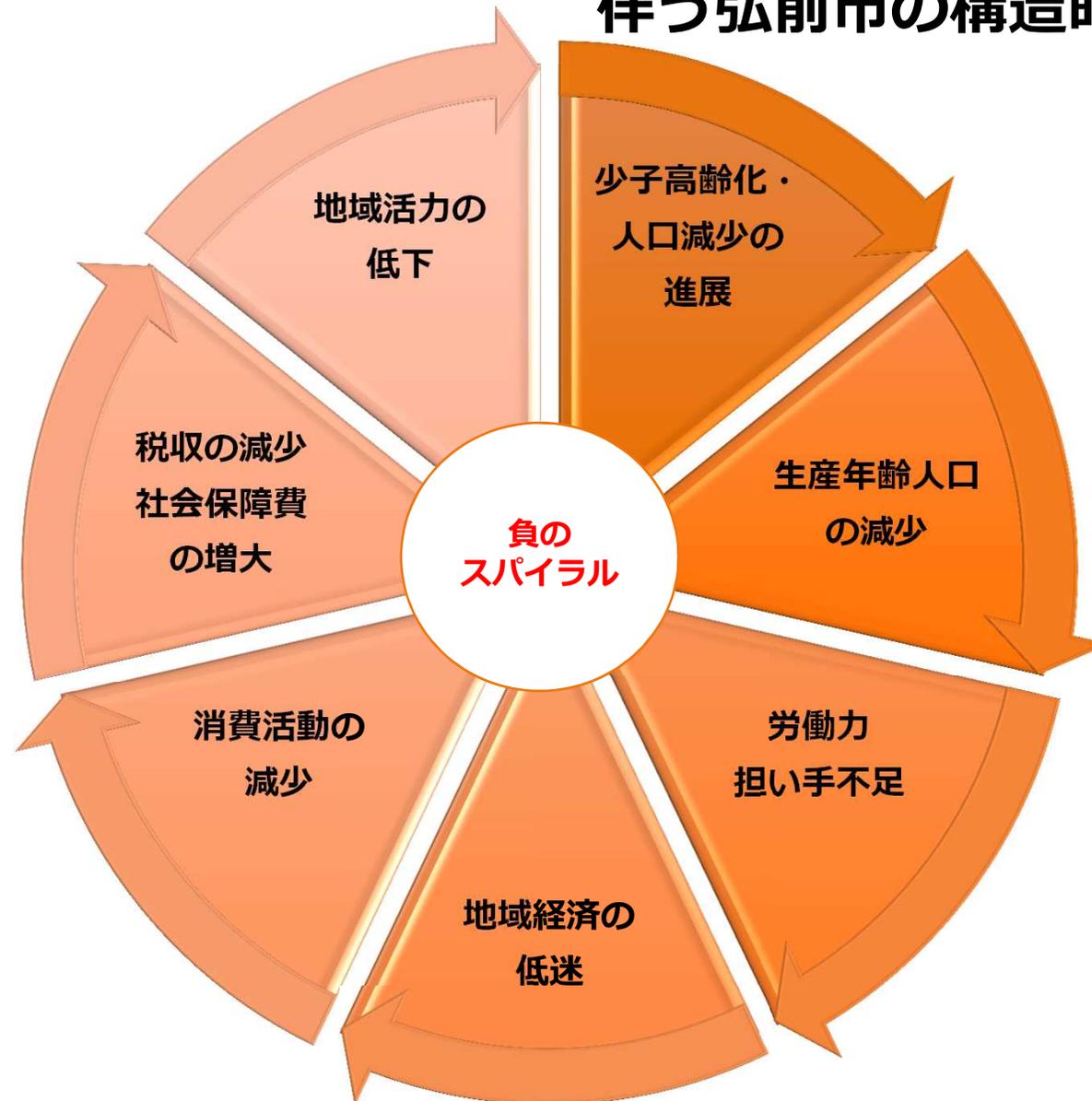
人口推移（推計：社人研ベース）



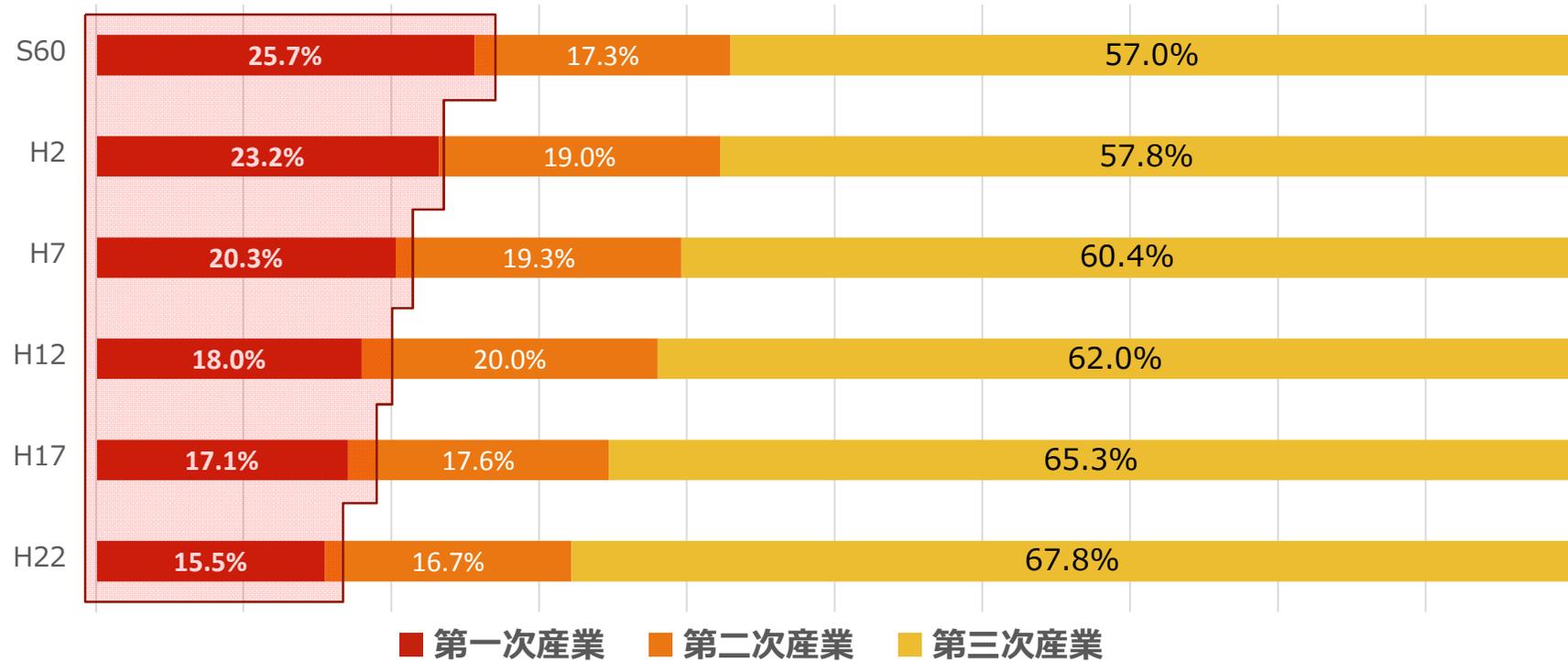
年齢3区分別人口割合の推移



少子高齢化・人口減少に 伴う弘前市の構造的な課題



弘前市の産業別就業率の推移



○市の基幹産業は第一次産業（農業）で、全国平均と比較してみると就業率は極めて高いが、年々減少傾向にある。

※第一次産業就業率（全国） = S60年 9.3% → H22年 4.2%



日本一のりんごの産地



弘前市にとって「りんご」は、地域経済に波及効果をもたらす重要な基幹産業・・・だが、

人口減少・少子高齢化の進展に伴い、既に農業従事者の高齢化や担い手不足といった課題に直面している・・・

このまま人口減少が進んだ場合、「りんごづくり」自体の存続が危ぶまれる・・・



3. 地方創生による 自治体間連携の取り組み

自治体連携による地方創生

(大阪府泉佐野市との連携)

■都市と地方をつなぐ就労支援カレッジ事業 (H28年2月～)



～概要～ 就労につながりにくい人材に対して、自治体間で連携して、個々の状況や能力に応じた支援を行う。

大阪府泉佐野市

- 大阪周辺の若年無業者の受入 (※)
- 最低限の農業技術の習得
- 地方での暮らし方を習得

青森県弘前市

- 移住体験
- 農業体験
- りんご生産者との交流 など

※引きこもりや、発達障害など何らかの就労阻害要因を抱える者を含む

～弘前市内の農業生産法人で農業体験実績～

区分	受入法人	研修生 (延べ数)
H27年度 (2月,3月)	1法人	21名
H28年度 (4月～)	5法人	60名 (予定)

出典：泉佐野アグリカレッジ共同企業体

<http://agri-college.com/>

■ 泉佐野市での訓練と 弘前市での農業体験の様子

泉佐野から弘前へ



【大阪府泉佐野市】研修生の訓練の様子



【青森県弘前市】農業体験の様子



4. 生活困窮者自立 支援制度の活用と運用

■ 生活困窮者自立支援制度を活用するまでのプロセス

弘前市では、H27年4月より、弘前市社会福祉協議会に自立相談支援事業を業務委託していたが、自治体連携による就労支援の取組みを全市に展開するために、次のようなプロセスで機能の強化を図った。

地域に潜在している人材が活躍できる環境づくりのため・・・弘前版働き方改革

WCP推進を目的に新たな行政組織を立ち上げ

H28.3月

ひろさきワーク・チャレンジ
プログラム（WCP）の策定

様々な就労阻害要因によって地域に潜在している人材を新たな担い手と位置づけ、活躍できる環境を整備し、就業人口の上昇を図る。

H28.4月

自治体連携による地方創生の取組みを地域に展開するため、健康福祉部内に「就労自立支援室」を設置。

生活困窮者自立支援制度のスキームを活用した就労支援体制を検討。

新たな相談窓口を移転・設置

H28.8月

生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援機関として、「ひろさき生活・仕事応援センター」を設置。

※既存の自立相談支援機関の移転

ひろさき生活・仕事応援センター開設

【開設日】

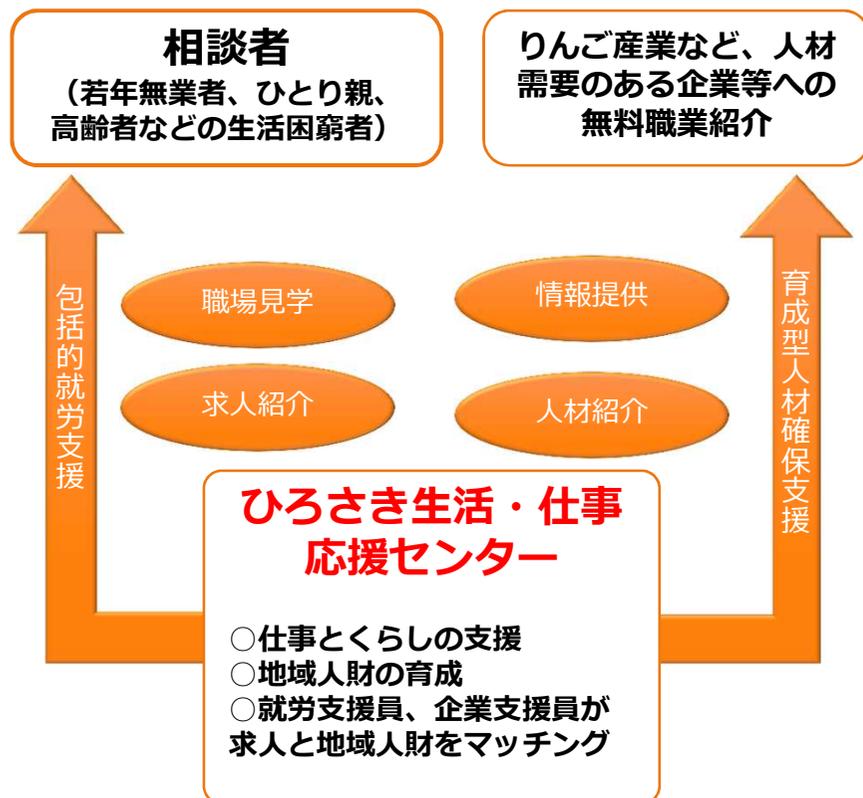
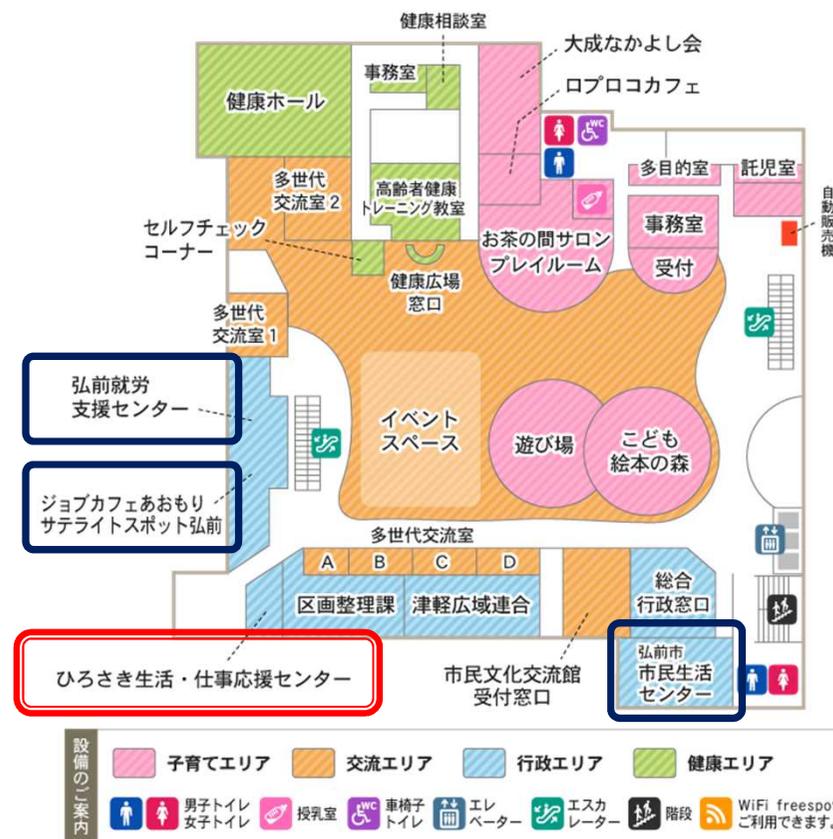
平成28年8月23日（火曜日）

【施設概要】

暮らしや仕事、お金や家族についての総合的な相談に応じるほか、**無料職業紹介所を併設し、個々の相談者の状況に適した仕事のおっせんを行う。**



【フロア配置図：ヒロロスクエア】





5. 今後の展開

ひろさき生活・仕事応援センターの今後の展開

【入口】 自立相談支援事業（主任相談支援員1名、相談支援員兼就労支援員2名）

生活困窮者からの相談に応じ、アセスメントを実施して個々人の状態にあったプランを作成し、必要な支援を行う。

就労準備支援事業（就労準備支援員1名）

ただちに一般就労への移行が困難な生活困窮者に対して、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成を、訓練として計画的かつ一貫して支援する。本人の状況に合わせ、段階的实施。

●日常生活自立

適切な生活習慣の形成を促す。

例) 起床、就寝、食事、身だしなみ等の助言・指導

居場所づくり
軽作業等

●社会生活自立

社会的能力の形成を促す。

例) 地域活動参加、地域のイベント等の準備手伝いなど

体験・実習

●就労自立

就労体験の機会提供を行いつつ、一般就労に向けた技法や知識の習得等を促す。

例) 軽作業、パソコン実習、

りんご作業、清掃、ものづくり、飲食など

認定就労訓練事業

(いわゆる中間的就労)

訓練してもなお一般就労が困難な者に対する支援付き就労の場を育成する。

【出口】 無料職業紹介事業（企業支援員2名）

相談者の状況に合わせたオーダーメイドの求人開拓・職業紹介及び企業支援を行う。

- 企業（求人）開拓
- 企業登録
- 情報発信
- 人材面の企業支援

●合同企業
説明会・面接会

●職業紹介



**ご清聴
ありがとうございました。**